

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

ア 概況

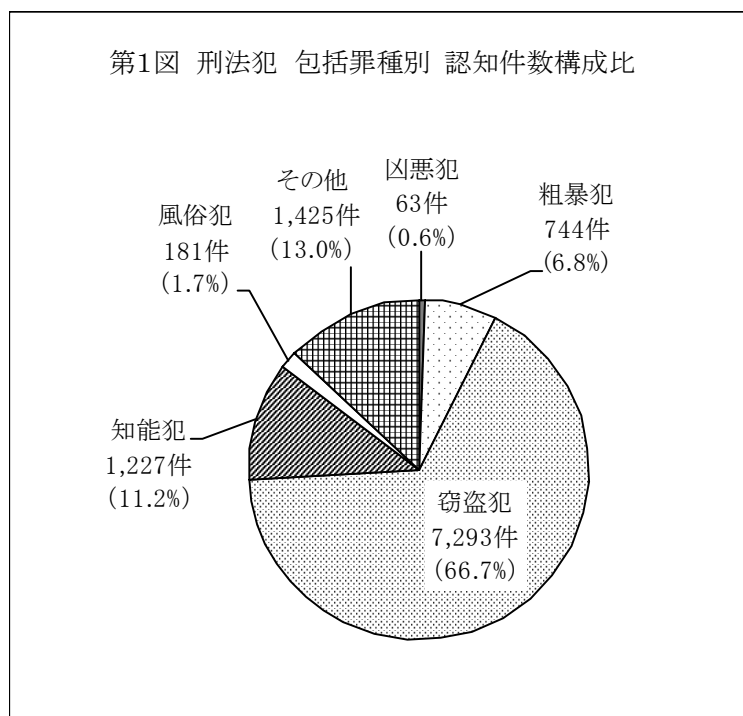
令和6年中の刑法犯認知件数は、第1表のとおり10,933件で、前年に比べ、978件(9.8%)増加した。

包括罪種別にみると、全ての罪種において件数が増加した。

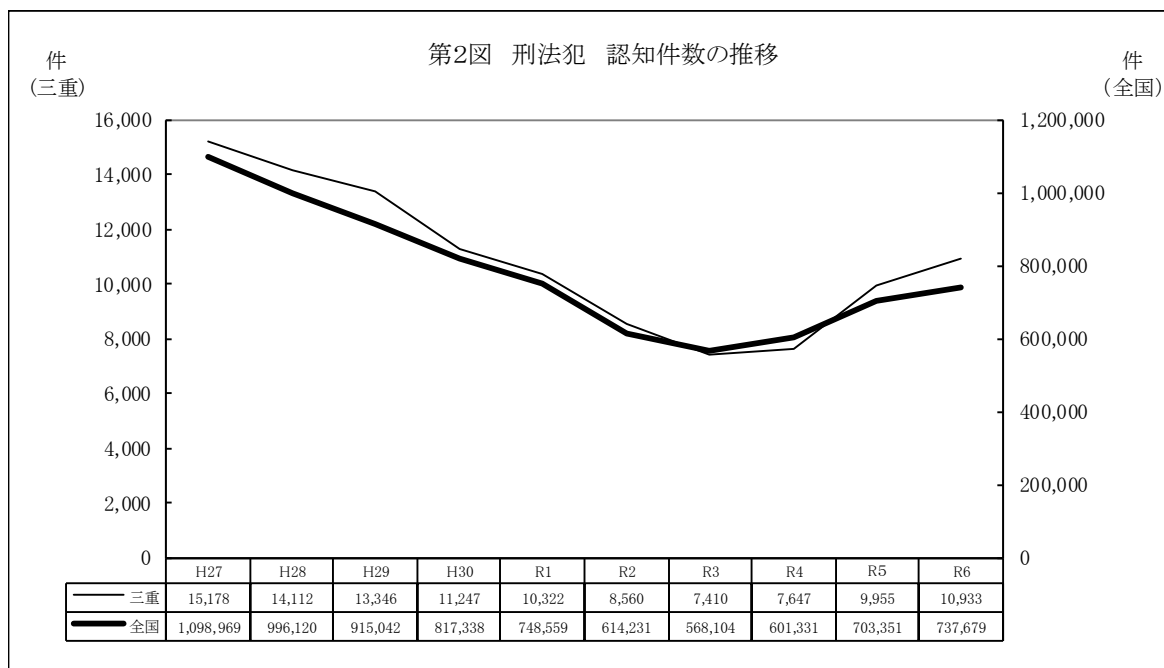
第1表 刑法犯認知件数増減比較

包 括 罪 種	令和6年		令和5年		増 減	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	率
総 数	10,933	100.0	9,955	100.0	978	9.8
凶 悪 犯	63	0.6	55	0.6	8	14.5
粗 暴 犯	744	6.8	662	6.6	82	12.4
窃 盗 犯	7,293	66.7	6,909	69.4	384	5.6
知 能 犯	1,227	11.2	797	8.0	430	54.0
風 俗 犯	181	1.7	119	1.2	62	52.1
そ の 他	1,425	13.0	1,413	14.2	12	0.8

(ア) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



- (イ) 全国及び三重県における刑法犯認知件数の推移をみると、第2図のとおり、平成27年以降、全国、三重ともに年々減少していたが、令和4年以降は増加している。



イ 罪種別発生(認知)状況

(7) 重要犯罪

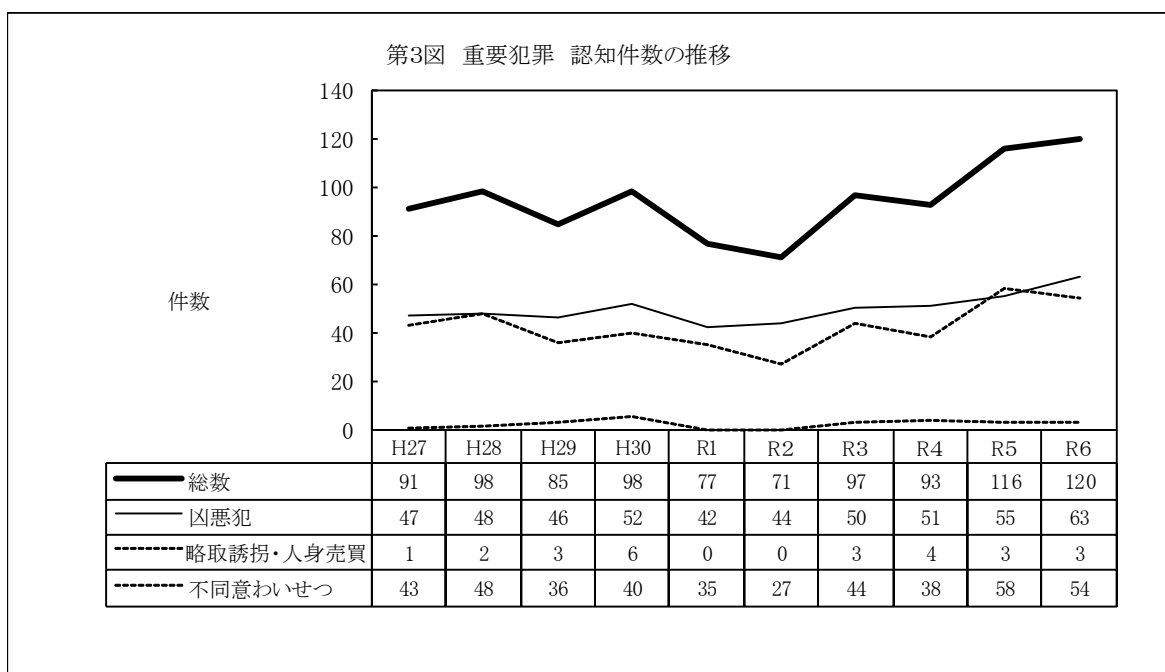
令和6年中の重要犯罪の認知件数は、第2表のとおり120件で、前年に比べ、4件(3.4%)増加した。

罪種別にみると、殺人、不同意性交等が増加したが、他の罪種は減少又は増減なしであった。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和6年	令和5年	増 減	
			件 数	率
総 数	120	116	4	3.4
殺 人	10	5	5	100.0
強 盗	10	15	-5	-33.3
放 火	2	9	-7	-77.8
不 同 意 性 交 等	41	26	15	57.7
略取誘拐・人身売買	3	3	±0	±0.0
不同意わいせつ	54	58	-4	-6.9

過去10年間の認知件数の推移をみると、第3図のとおり、平成27年以降、増加と減少を繰り返していたが、令和5年以降は増加している。



(イ) 重要窃盗犯

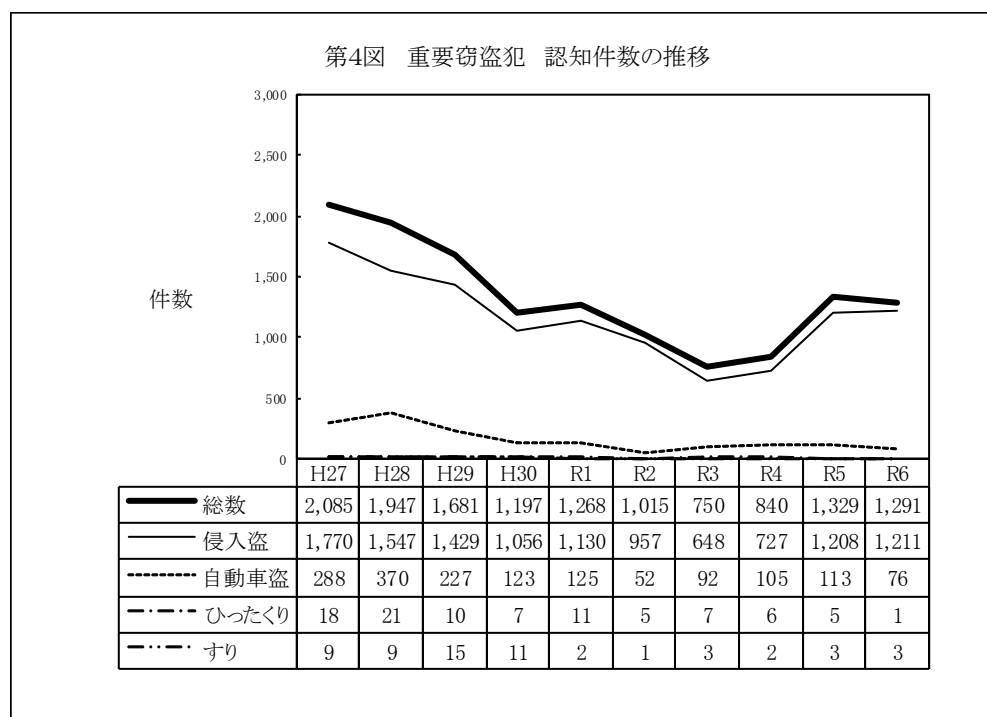
令和6年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり1,291件で、前年に比べ、38件(2.9%)減少した。

手口別にみると、自動車盗、ひったくりは減少し、侵入盗は増加した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和6年	令和5年	増 減	
			件 数	率
総 数	1,291	1,329	-38	-2.9
侵 入 盗	1,211	1,208	3	0.2
住 宅 対 象	354	311	43	13.8
そ の 他	857	897	-40	-4.5
自 動 車 盗	76	113	-37	-32.7
ひ っ た く り	1	5	-4	-80.0
す り	3	3	±0	±0.0

過去10年間の認知件数の推移をみると、第4図のとおり、平成27年以降は減少し、令和3年が最も少ない件数になっている。



(ウ) 凶悪犯

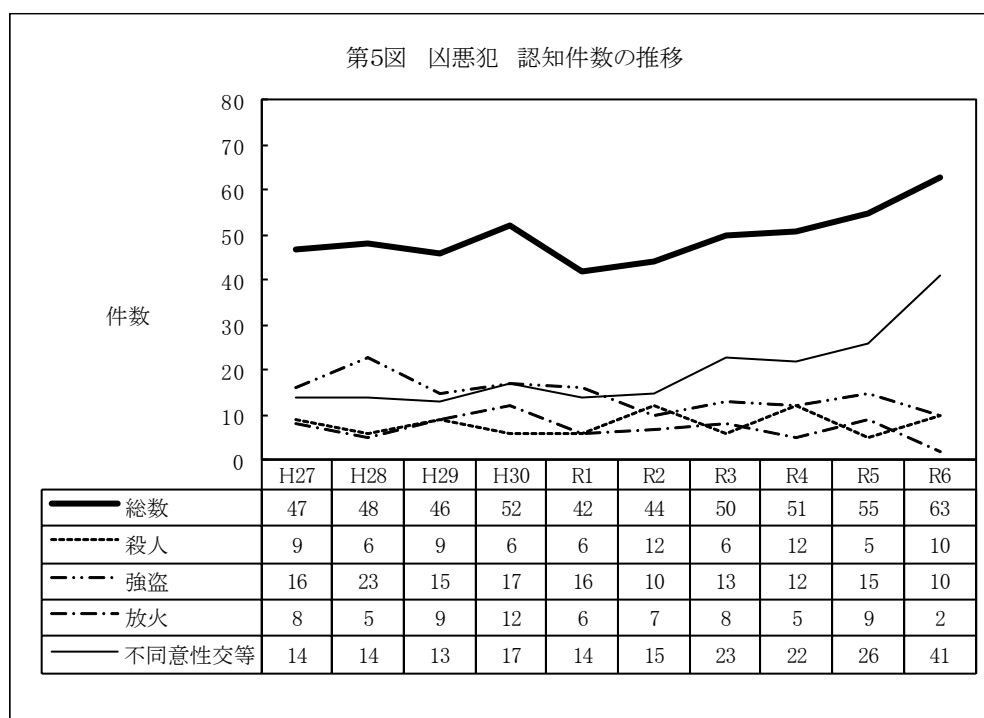
令和6年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり63件で、前年に比べ、8件(14.5%)増加した。

罪種別にみると、殺人、不同意性交等は増加し、強盗、放火は減少した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪 種	令和6年		令和5年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	63	100.0	55	100.0	8	14.5
殺 人	10	15.9	5	9.1	5	100.0
強 盗	10	15.9	15	27.3	-5	-33.3
放 火	2	3.2	9	16.4	-7	-77.8
不 同 意 性 交 等	41	65.1	26	47.3	15	57.7

過去10年間の認知件数の推移をみると、第5図のとおり、令和元年に過去10年で最少の件数となったが、令和2年以降は増加している。



(エ) 粗暴犯

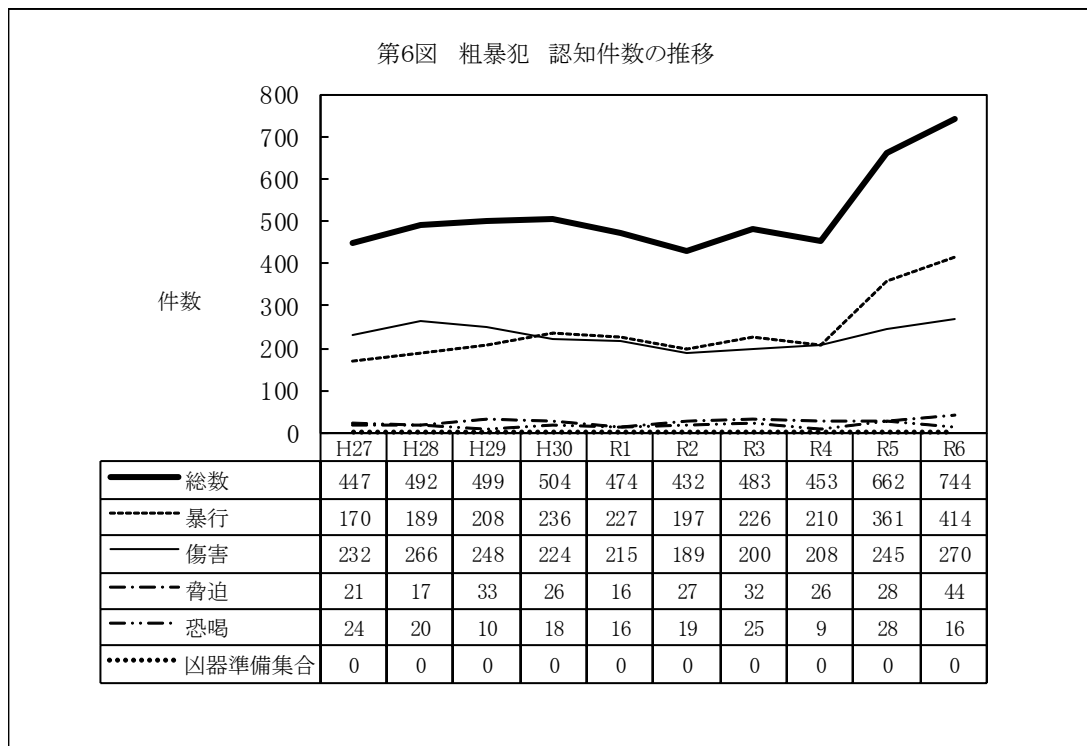
令和6年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり744件で、前年に比べ、82件(12.4%)増加した。

罪種別にみると、暴行、傷害、脅迫が増加し、恐喝が減少した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪 種	令和6年		令和5年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	744	100.0	662	100.0	82	12.4
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴 行	414	55.6	361	54.5	53	14.7
傷 害	270	36.3	245	37.0	25	10.2
脅 迫	44	5.9	28	4.2	16	57.1
恐 喝	16	2.2	28	4.2	-12	-42.9

過去10年間の認知件数の推移をみると、第6図のとおり、令和5年以降は増加傾向にある。



(オ) 窃盗犯

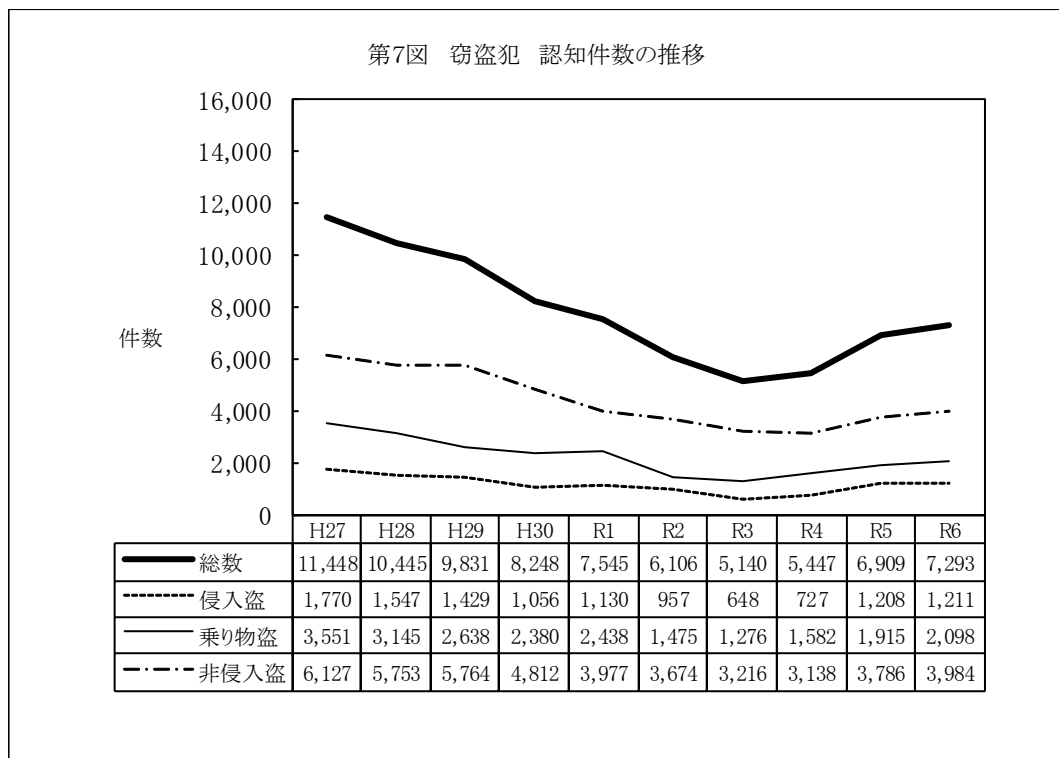
令和6年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり7,293件で、前年に比べ、384件(5.6%)増加した。

手口別にみると、全ての手口において前年より増加した。

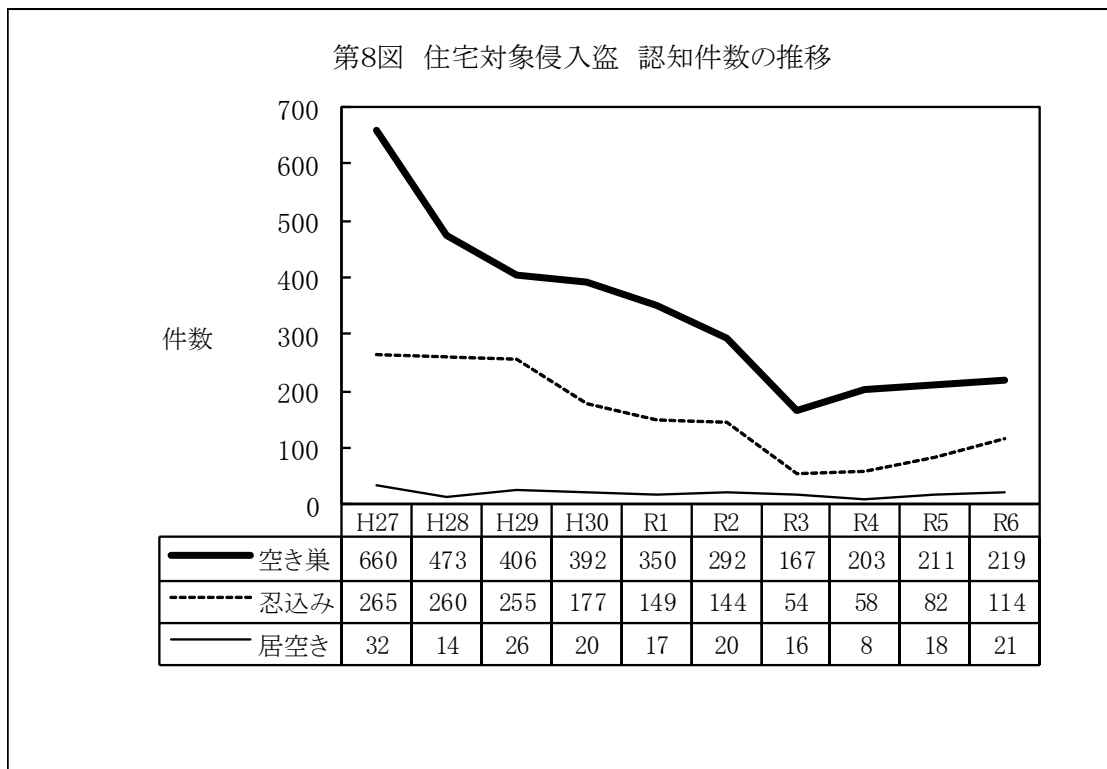
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和6年		令和5年		増 減	
		構 成 比		構 成 比	件 数	率
総 数	7,293	100.0	6,909	100.0	384	5.6
侵 入 盗	1,211	16.6	1,208	17.5	3	0.2
乗 り 物 盗	2,098	28.8	1,915	27.7	183	9.6
非 侵 入 盗	3,984	54.6	3,786	54.8	198	5.2

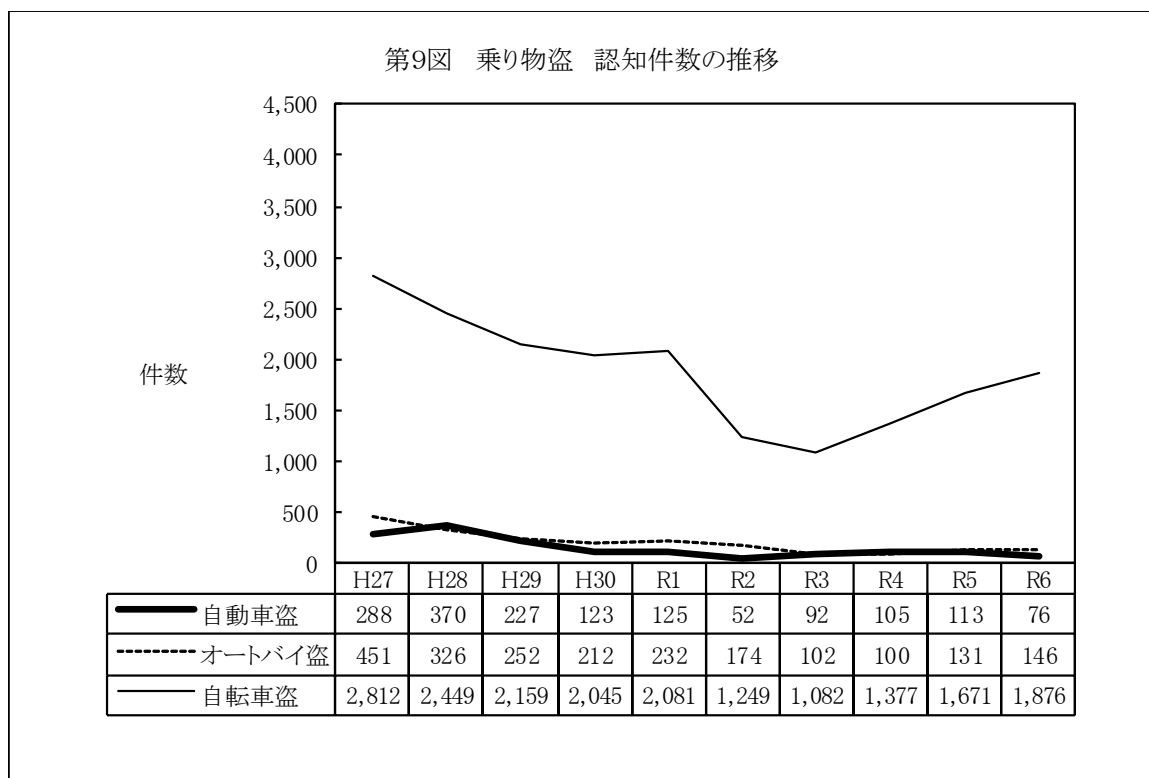
過去10年間の認知件数の推移をみると、第7図のとおりで、平成27年以降は減少しているが、令和4年以降は増加している。



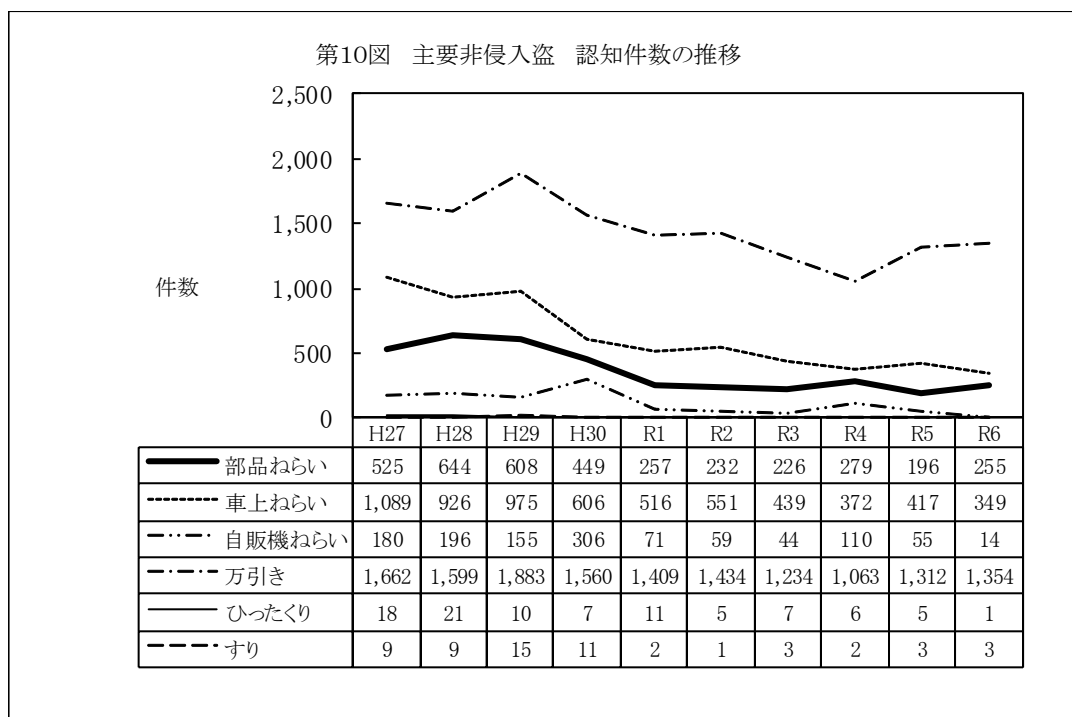
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第8図のとおりで、令和6年は全ての手口が増加した。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると、第9図のとおりで、令和6年は自動車盗は減少したが、オートバイ盗と自転車盗は増加した。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおり、令和6年は車上ねらい、自販機ねらい及びひったくりが過去10年で最少の件数となった。



(カ) 知能犯

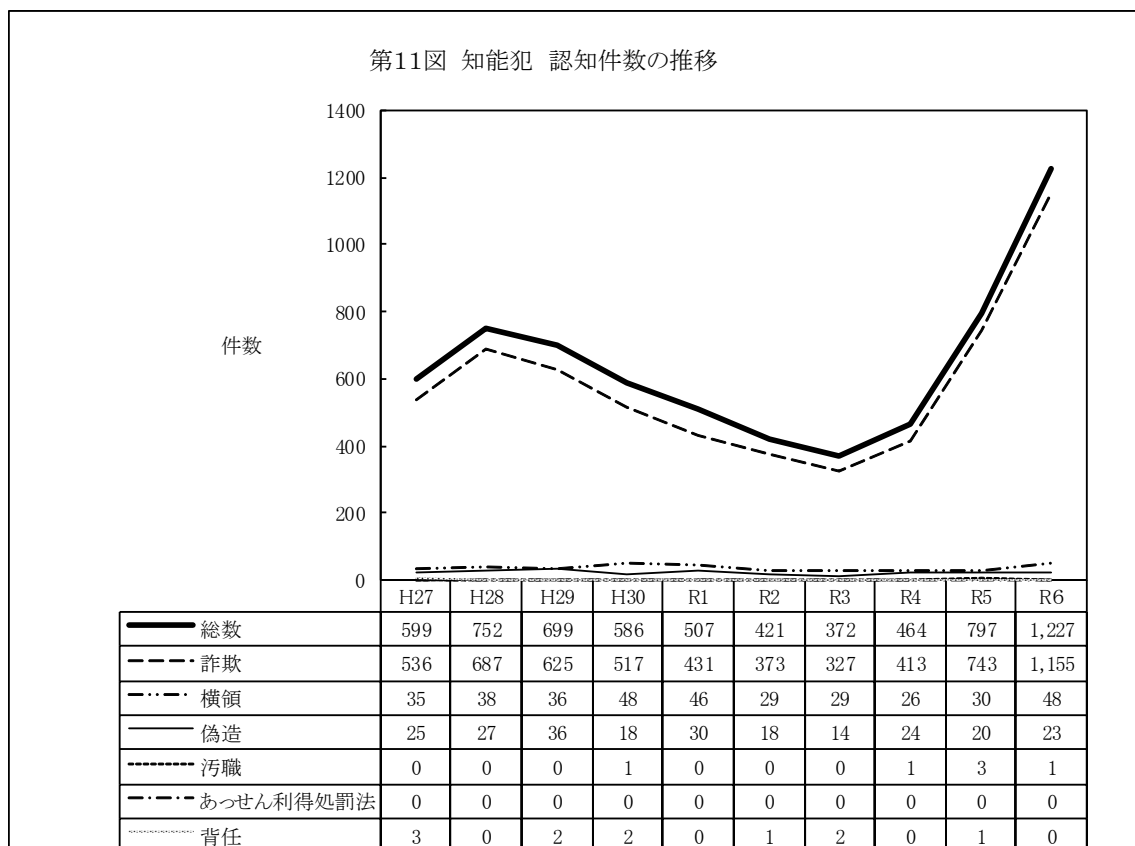
令和6年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり1,227件で、前年に比べ、430件(54.0%)増加した。

罪種別にみると、詐欺、横領、偽造が増加している。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪 種	令和6年		令和5年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	1,227	100.0	797	100.0	430	54.0
詐 欺	1,155	94.1	743	93.2	412	55.5
横 領	48	3.9	30	3.8	18	60.0
偽 造	23	1.9	20	2.5	3	15.0
汚 職	1	0.1	3	0.4	-2	-66.7
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-
背 任	-	-	1	0.1	-1	-100.0

過去10年間の認知件数の推移をみると、第11図のとおり、平成29年以降、詐欺の認知件数は減少しているが、令和4年以降は増加しており、令和6年は過去10年で最大の件数となった。



(キ) 風俗犯

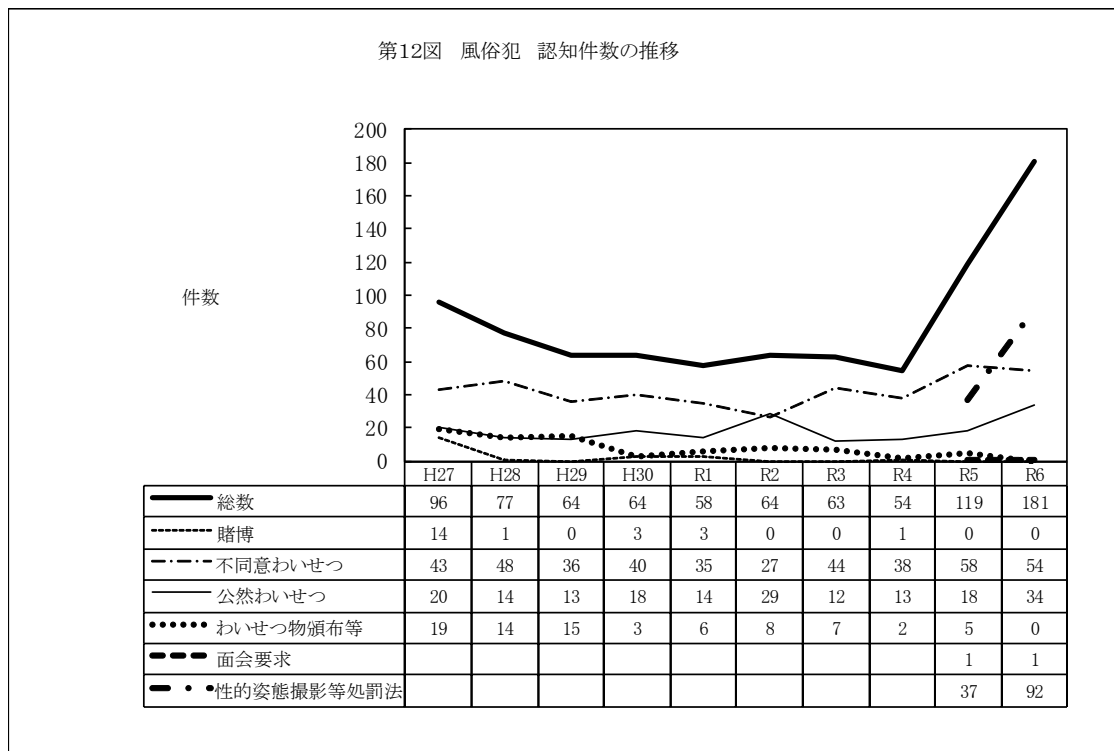
令和6年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり181件で、前年に比べ、62件(52.1%)増加した。

第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪 種	令 和 6 年		令 和 5 年		増 減	
	構 成 比	構 成 比	構 成 比	構 成 比	件 数	率
総 数	181	100.0	119	100.0	62	52.1
賭 博	—	—	—	—	—	—
不同意わいせつ	54	29.8	58	48.7	-4	-6.9
公然わいせつ	34	18.8	18	15.1	16	88.9
わいせつ物頒布等	—	—	5	4.2	-5	-100.0
面 会 要 求	1	0.6	1	0.8	±0	±0.0
性的 姿 態 撮 影 等 処 罰 法	92	50.8	37	31.1	55	148.6

過去10年間の認知件数の推移をみると、第12図のとおり、平成27年以降は減少傾向を示し、令和4年は総数が最少の件数となっている。

令和5年以降は新たな罪種(性的姿態撮影等処罰法)が追加された影響により、認知件数が大きく増加している。



㊦ その他の刑法犯

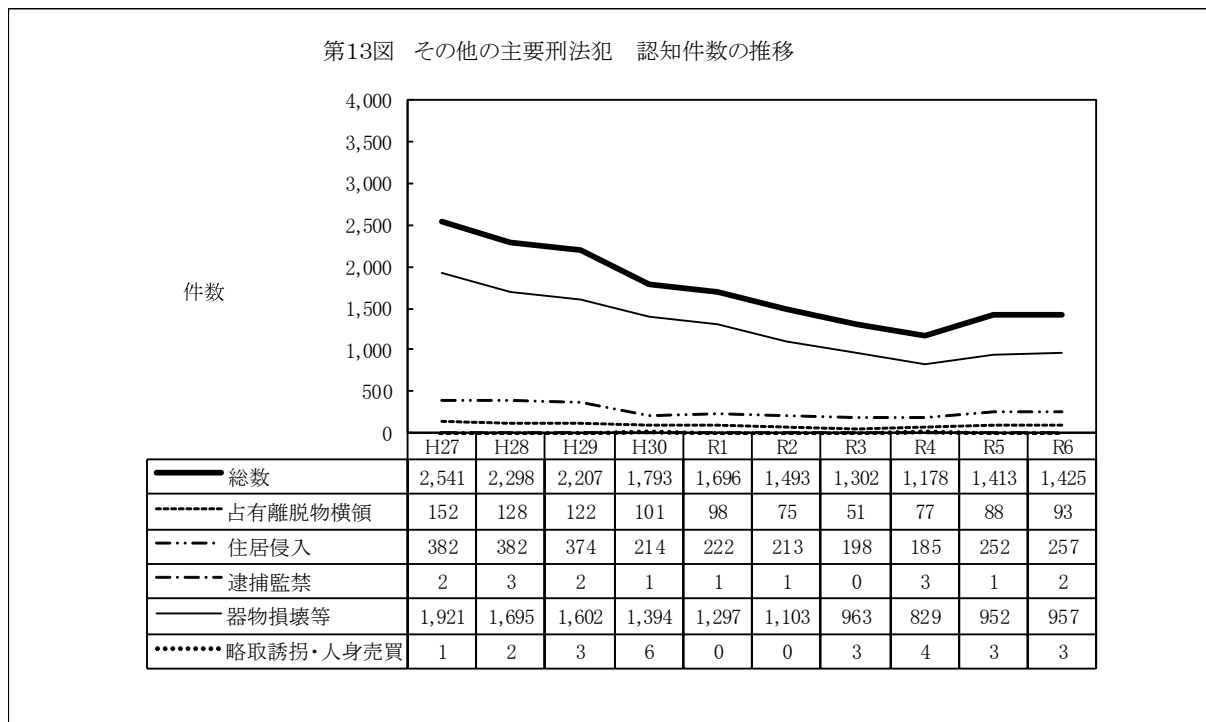
令和6年中のその他の刑法犯は、第9表のとおり1,425件で、前年に比べ、12件(0.8%)増加した。

罪種別にみると、占有離脱物横領、住居侵入、逮捕監禁及び器物損壊等が増加した。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和6年		令和5年		増 減	
		構 成 比		構 成 比	件 数	率
総 数	1,425	100.0	1,413	100.0	12	0.8
略取誘拐・人身売買	3	0.2	3	0.2	±0	±0.0
占有離脱物横領	93	6.5	88	6.2	5	5.7
住 居 侵 入	257	18.0	252	17.8	5	2.0
逮 捕 監 禁	2	0.1	1	0.1	1	100.0
器 物 損 壊 等	957	67.2	952	67.4	5	0.5

過去10年間の認知件数の推移をみると、第13図のとおりで、令和4年に過去10年で最少の件数となったが、令和5年以降は増加している。



ウ 警察署別刑法犯発生(認知)状況

令和6年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると第10表のとおりで、令和6年は全18警察署のうち、10警察署で増加し、8警察署で減少した。

○ 前年に比べ増加した警察署

桑名、四日市北、四日市南、四日市西、鈴鹿、津南、松阪、大台、熊野、名張の10警察署

○ 前年に比べ減少した警察署

いなべ、亀山、津、伊勢、鳥羽、尾鷲、紀宝、伊賀の8警察署

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和6年	令和5年	増 減 数	増 減 率
桑 名	816	792	24	3.0
い な べ	301	307	-6	-2.0
四 日 市 北	1,052	741	311	42.0
四 日 市 南	1,580	1,266	314	24.8
四 日 市 西	266	252	14	5.6
亀 山	256	290	-34	-11.7
鈴 鹿	1,579	1,438	141	9.8
津	1,441	1,462	-21	-1.4
津 南	670	530	140	26.4
松 阪	1,138	967	171	17.7
大 台	60	38	22	57.9
伊 勢	667	772	-105	-13.6
鳥 羽	241	259	-18	-6.9
尾 鷲	84	91	-7	-7.7
熊 野	57	42	15	35.7
紀 宝	39	59	-20	-33.9
伊 賀	314	346	-32	-9.2
名 張	372	303	69	22.8
総 数	10,933	9,955	978	9.8

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体被害

令和6年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の総数は、第11表のとおり314人（死者15人、負傷者299人）で、前年に比べ32人増加した。

第11表 死傷被害者数

罪 種	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
総 数	10	225	8	233	9	241	10	272	15	299
殺 人	6	5	1	5	7	5	3	2	6	3
強盗・不同意性交等	—	9	—	4	—	10	1	6	—	7
傷 害 ・ 同 致 死	1	205	2	212	—	215	2	251	3	283
過 失 致 死 傷	1	2	—	2	—	4	—	7	1	1
業 過（交を除く）	2	3	3	9	2	—	4	3	4	3
放 火 ・ 失 火	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
不 同 意 わ い せ つ	—	1	—	1	—	4	—	3	—	1
遺 棄	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
逮 捕 監 禁	—	—	—	—	—	2	—	—	—	1
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決闘罪ニ関スル件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産被害

令和6年中に認知した財産犯（強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ。）の被害総額は約60億円で、このうち現金被害額は約38億円である。

罪種別にみると、第12表及び第14図のとおりで、令和4年以降、詐欺の被害額が最も多くなっている。

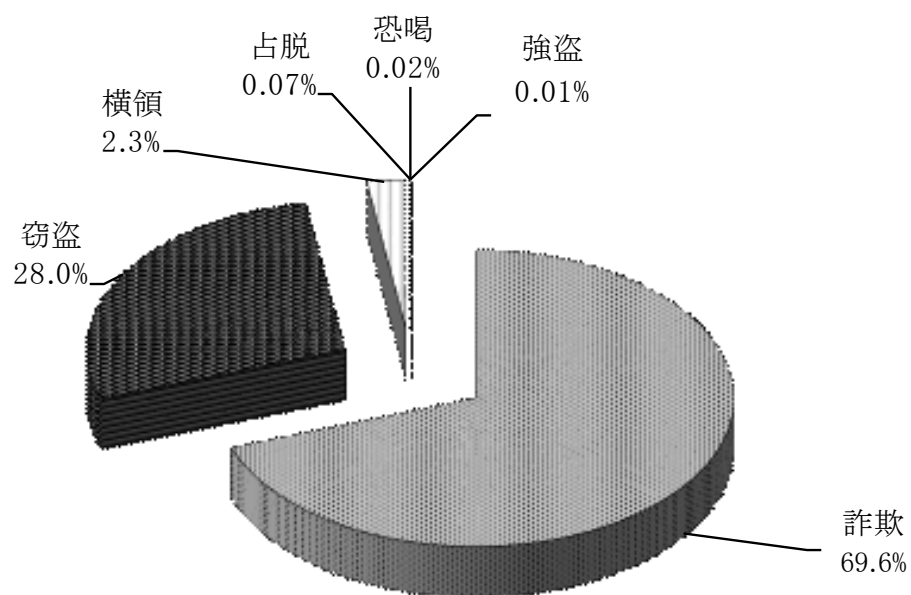
第12表 財産犯の被害額

[単位：千円]

罪 種	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金	総 額	う ち 現 金
総 数	1,291,092	612,817	1,414,555	695,233	5,555,414	4,734,197	3,418,777	2,072,172	6,002,259	3,810,356
強 盗	3,427	914	875	869	7,793	7,680	321	234	412	228
恐 喝	2,443	2,441	24,895	24,895	30,768	25,416	19,685	17,289	1,248	577
窃 盗	597,764	178,015	875,525	206,429	899,513	165,634	1,111,583	216,878	1,678,165	390,286
詐 欺	598,790	348,023	296,245	264,024	4,419,154	4,347,500	2,142,419	1,723,582	4,177,802	3,287,544
横 領	86,980	82,489	215,878	198,401	197,083	187,509	142,296	113,116	140,673	130,596
占 脱	1,688	935	1,137	615	1,103	458	2,473	1,073	3,959	1,125

注：「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯 被害額の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和6年中の刑法犯検挙状況は、第13表のとおり、検挙件数は3,626件、検挙人員は2,397人で、前年に比べ、検挙件数は減少し、検挙人員は増加した。

包括罪種別に前年と比較すると、検挙件数は凶悪犯、粗暴犯、風俗犯及びその他の刑法犯が増加し、検挙人員は知能犯を除く種別が増加した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	3,626	3,810	-184	-4.8	2,397	2,116	281	13.3
凶 悪 犯	48	43	5	11.6	53	44	9	20.5
粗 暴 犯	661	543	118	21.7	692	547	145	26.5
窃 盗 犯	2,128	2,476	-348	-14.1	1,143	1,085	58	5.3
知 能 犯	252	302	-50	-16.6	169	174	-5	-2.9
風 俗 犯	145	77	68	88.3	97	53	44	83.0
そ の 他	392	369	23	6.2	243	213	30	14.1

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。

検挙件数は減少傾向を示しており、令和4年は過去10年で最少の検挙件数となったが、令和35年からは増加傾向である。

検挙人員にあっても減少傾向を示しており、令和4年は20歳以上、少年ともに過去10年で最少の検挙人員となったが、令和5年からは増加傾向である。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別		平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
検 挙 件 数		4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810	3,626
検 挙 人 員	総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
	20歳以上	1,890	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688	1,674	1,648	1,906	2,110
	少 年	388	294	248	240	215	175	172	148	210	287
	構 成 比	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9	12.0

注:検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員2,397人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、令和6年は全ての年代で増加した。

第15表 刑法犯 犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
14～19歳	397	296	259	245	219	180	178	152	218	293
20～29歳	291	319	327	289	290	324	301	337	345	419
30～39歳	322	316	318	314	262	267	265	242	281	339
40～49歳	350	380	339	352	326	302	291	288	341	369
50歳以上	918	848	950	1,010	841	790	811	777	931	977

イ 罪種別検挙状況

(7) 重要犯罪

令和6年中の重要犯罪の検挙状況は、第16表のとおり、検挙件数は93件、検挙人員は92人、検挙率は77.5%であった。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	令和 6年	令和 5年
			数	率				
総 数	93	90	3	3.3	92	82	77.5	77.6
殺 人	10	5	5	100.0	8	5	100.0	100.0
強 盗	7	16	-9	-56.3	14	21	70.0	106.7
放 火	3	7	-4	-57.1	4	6	150.0	77.8
不同意性交等	28	15	13	86.7	27	12	68.3	57.7
略取誘拐・人身売買	3	2	1	50.0	3	2	100.0	66.7
不同意わいせつ	42	45	-3	-6.7	36	36	77.8	77.6

(4) 重要窃盗犯

令和6年中の重要窃盗犯の検挙状況は、第17表のとおり、検挙件数は500件、検挙人員は82人、検挙率は38.7%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

検挙率は前年より18.7ポイント減少した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	令和 6年	令和 5年
			数	率				
総 数	500	763	-263	-34.5	82	89	38.7	57.4
侵入盗	459	635	-176	-27.7	74	74	37.9	52.6
住宅対象	127	106	21	19.8	24	29	35.9	34.1
そ の 他	332	529	-197	-37.2	50	45	38.7	59.0
自動車盗	38	119	-81	-68.1	7	10	50.0	105.3
ひったくり	2	7	-5	-71.4	1	4	200.0	140.0
す り	1	2	-1	-50.0	-	1	33.3	66.7

(㍑) 凶悪犯

令和6年中の凶悪犯の検挙状況は、第18表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	48	43	5	11.6	53	44	9	20.5
殺人	10	5	5	100.0	8	5	3	60.0
強 盗	7	16	-9	-56.3	14	21	-7	-33.3
放 火	3	7	-4	-57.1	4	6	-2	-33.3
不同意性交等	28	15	13	86.7	27	12	15	125.0

(㍑) 粗暴犯

令和6年中の粗暴犯の検挙状況は、第19表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	661	543	118	21.7	692	547	145	26.5
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—	—	—
暴 行	380	316	64	20.3	411	333	78	23.4
傷 害	237	185	52	28.1	249	179	70	39.1
脅 迫	32	24	8	33.3	24	19	5	26.3
恐 喝	12	18	-6	-33.3	8	16	-8	-50.0

(㊦) 窃盗犯

令和6年中の窃盗犯の検挙状況は、第20表のとおり、前年に比べ、検挙件数は減少したが、検挙人員は増加した。

検挙件数を手口別にみると、忍込み、事務所荒し、出店荒しの増加が目立ち、その他の侵入盗、自動車盗が大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,128	2,476	-348	-14.1	1,143	1,085	58	5.3
侵 入 盗	459	635	-176	-27.7	74	74	±0	±0.0
空 き 巣	54	91	-37	-40.7	12	25	-13	-52.0
忍 込 み	67	11	56	509.1	8	2	6	300.0
居 空 き	6	4	2	50.0	4	2	2	100.0
金 庫 破 り	7	2	5	250.0	1	-	1	-
学 校 荒 し	4	13	-9	-69.2	1	4	-3	-75.0
事 務 所 荒 し	84	14	70	500.0	4	5	-1	-20.0
出 店 荒 し	99	38	61	160.5	9	3	6	200.0
そ の 他	138	462	-324	-70.1	35	33	2	6.1
乗 り 物 盗	161	242	-81	-33.5	90	95	-5	-5.3
自 動 車 盗	38	119	-81	-68.1	7	10	-3	-30.0
オ ー ト バ イ 盗	31	25	6	24.0	27	26	1	3.8
自 転 車 盗	92	98	-6	-6.1	56	59	-3	-5.1
非 侵 入 盗	1,508	1,599	-91	-5.7	979	916	63	6.9
部 品 ね ら い	31	36	-5	-13.9	8	3	5	166.7
車 上 ね ら い	91	56	35	62.5	10	11	-1	-9.1
ひ っ た く り	2	7	-5	-71.4	1	4	-3	-75.0
す り	1	2	-1	-50.0	-	1	-1	-100.0
自 動 販 売 機 ね ら い	15	23	-8	-34.8	-	1	-1	-100.0
万 引 き	841	806	35	4.3	674	637	37	5.8
置 引 き	77	79	-2	-2.5	67	65	2	3.1
そ の 他	450	590	-140	-23.7	219	194	25	12.9

(カ) 知能犯

令和6年中の知能犯の検挙状況は、第21表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	252	302	-50	-16.6	169	174	-5	-2.9
詐 欺	195	259	-64	-24.7	114	139	-25	-18.0
横 領	35	22	13	59.1	28	19	9	47.4
偽 造	21	17	4	23.5	26	8	18	225.0
汚 職	1	3	-2	-66.7	1	6	-5	-83.3
あつせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-	-	-
背 任	-	1	-1	-100.0	-	2	-2	-100.0

(キ) 風俗犯

令和6年中の風俗犯の検挙状況は、第22表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	145	77	68	88.3	97	53	44	83.0
賭 博	-	-	-	-	-	-	-	-
不同意わいせつ	42	45	-3	-6.7	36	36	±0	±0.0
公然わいせつ	30	18	12	66.7	17	10	7	70.0
わいせつ物頒布等	1	4	-3	-75.0	-	1	-1	-100.0
面 会 要 求	-	-	-	-	-	-	-	-
性的姿態撮影等処罰法	72	10	62	620.0	44	6	38	633.3

(ク) その他の刑法犯

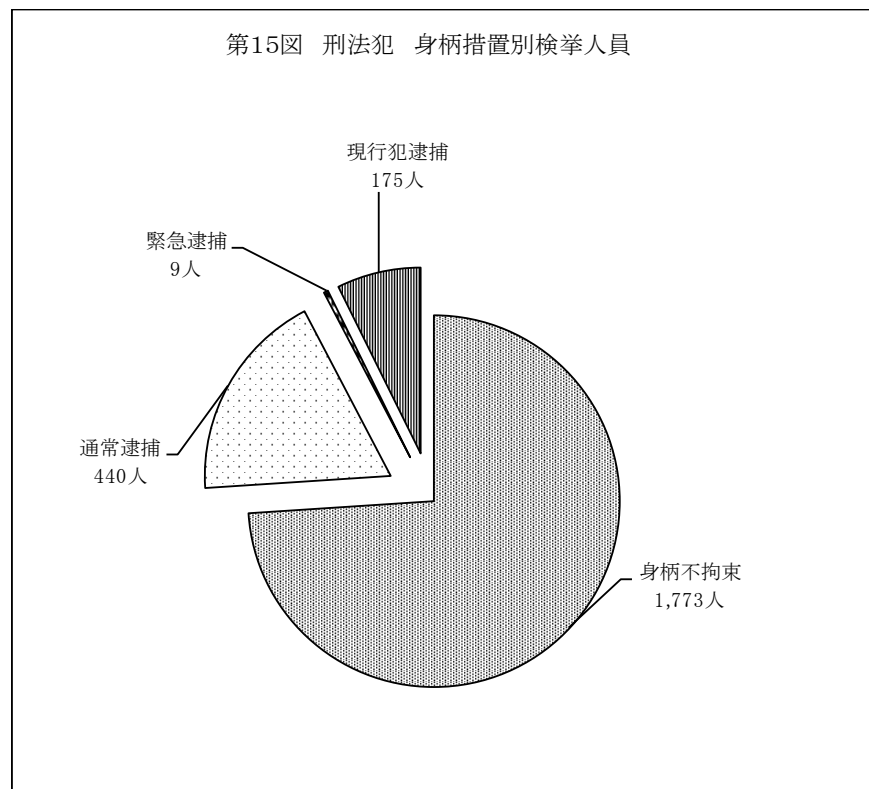
令和6年中のその他の刑法犯の検挙状況は、第23表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	392	369	23	6.2	243	213	30	14.1
略取誘拐・人身売買	3	2	1	50.0	3	2	1	50.0
占有離脱物横領	90	68	22	32.4	79	58	21	36.2
住 居 侵 入	66	94	-28	-29.8	30	34	-4	-11.8
逮 捕 監 禁	2	2	±0	±0.0	1	4	-3	-75.0
器 物 損 壊 等	147	136	11	8.1	56	58	-2	-3.4

ウ 身柄措置別検挙状況

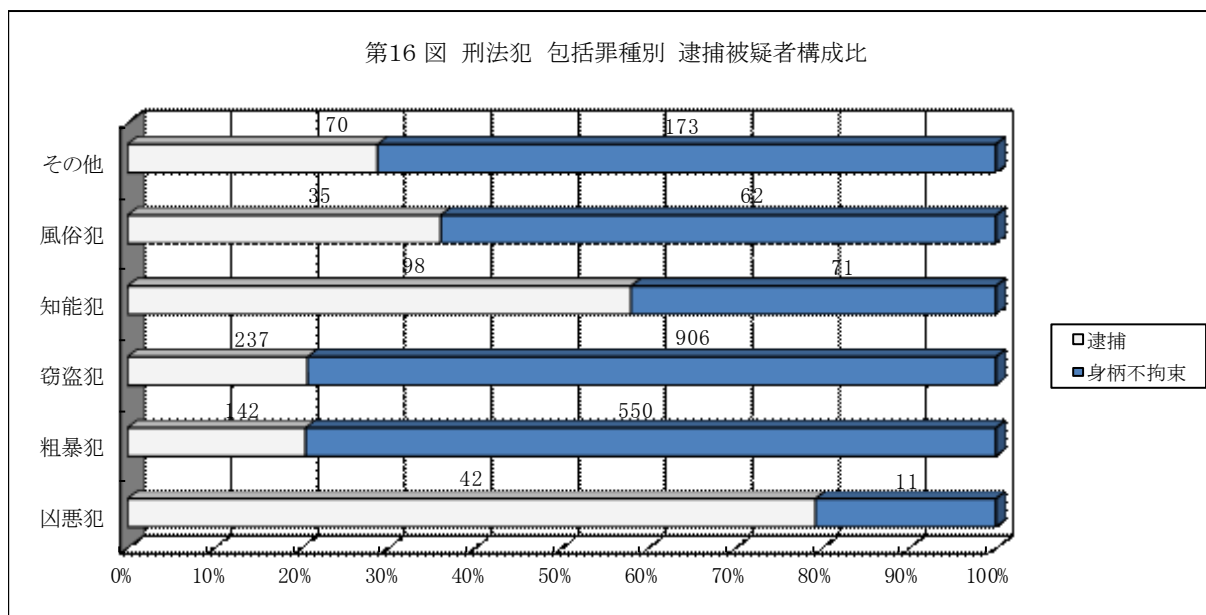
令和6年中の刑法犯検挙人員2,397人を身柄措置別にみると、第15図及び第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,773人、逮捕者(通常逮捕、緊急逮捕、現行犯逮捕)は624人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和6年	2,397	1,773	624	175	9	440
	令和5年	2,116	1,527	589	178	14	397
	増減数	+281	+246	+35	-3	-5	+43
凶 悪 犯	令和6年	53	11	42	4	2	36
	令和5年	44	5	39	3	2	34
	増減数	+9	+6	+3	+1	±0	+2
粗 暴 犯	令和6年	692	550	142	58	-	84
	令和5年	547	424	123	45	1	77
	増減数	+145	+126	+19	+13	-1	+7
窃 盗 犯	令和6年	1,143	906	237	71	6	160
	令和5年	1,085	844	241	85	9	147
	増減数	+58	+62	-4	-14	-3	+13
	うち) 侵入盗	令和6年	74	16	58	6	51
		令和5年	74	11	63	7	52
		増減数	±0	+5	-5	-1	-1
知 能 犯	令和6年	169	71	98	7	-	91
	令和5年	174	85	89	9	-	80
	増減数	-5	-14	+9	-2	±0	+11
風 俗 犯	令和6年	97	62	35	3	-	32
	令和5年	53	21	32	7	1	24
	増減数	+44	+41	+3	-4	-1	+8
そ の 他	令和6年	243	173	70	32	1	37
	令和5年	213	148	65	29	1	35
	増減数	+30	+25	+5	+3	±0	+2

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると、第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは粗暴犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和6年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は、第25表のとおり2,725件で、前年に比べ、279件増加した。

包括罪種別に女性被害の割合をみると、特に風俗犯では被害の94.2%、凶悪犯では被害の81.7%と高くなっている。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区 分	令和6年			令和5年			増 減		
	人の被害 の 計	うち)女性	構成比	人の被害 の 計	うち)女性	構成比	人の被害 の 計	うち)女性	ポイント
総 数	7,705	2,725	35.4	7,001	2,446	34.9	704	279	0.5
凶 悪 犯	60	49	81.7	50	38	76.0	10	11	5.7
粗 暴 犯	744	352	47.3	662	307	46.4	82	45	0.9
窃 盗 犯	4,745	1,378	29.0	4,558	1,343	29.5	187	35	-0.5
侵入盗	865	281	32.5	917	303	33.0	-52	-22	-0.5
乗り物盗	2,053	541	26.4	1,879	499	26.6	174	42	-0.2
非侵入盗	1,827	556	30.4	1,762	541	30.7	65	15	-0.3
知 能 犯	1,023	434	42.4	618	310	50.2	405	124	-7.8
風 俗 犯	155	146	94.2	105	100	95.2	50	46	-1.0
そ の 他	978	366	37.4	1,008	348	34.5	-30	18	2.9

刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成27年以降、減少していたが、令和4年以降は増加している。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	15,178	14,112	13,346	11,247	10,322	8,560	7,410	7,647	9,955	10,933
女性被害	3,387	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028	1,652	1,743	2,446	2,725
構 成 比	22.3	21.9	22.7	23.0	23.9	23.7	22.3	22.8	24.6	24.9
凶 悪 犯	47	48	46	52	42	44	50	51	55	63
女性被害	27	24	27	21	19	26	25	35	38	49
構 成 比	57.4	50.0	58.7	40.4	45.2	59.1	50.0	68.6	69.1	77.8
粗 暴 犯	447	492	499	504	474	432	483	453	662	744
女性被害	166	198	226	225	204	205	219	206	307	352
構 成 比	37.1	40.2	45.3	44.6	43.0	47.5	45.3	45.5	46.4	47.3
窃 盗 犯	11,448	10,445	9,831	8,248	7,545	6,106	5,140	5,447	6,909	7,293
女性被害	2,371	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225	920	1,011	1,343	1,378
構 成 比	20.7	19.8	20.0	20.2	21.8	20.1	17.9	18.6	19.4	18.9
知 能 犯	599	752	699	586	507	421	372	464	797	1,227
女性被害	168	146	190	121	115	122	99	142	310	434
構 成 比	28.0	19.4	27.2	20.6	22.7	29.0	26.6	30.6	38.9	35.4
風 俗 犯	96	77	64	64	58	64	63	54	119	181
女性被害	48	51	41	49	38	38	50	42	100	146
構 成 比	50.0	66.2	64.1	76.6	65.5	59.4	79.4	77.8	84.0	80.7
そ の 他	2541	2298	2207	1793	1696	1493	1302	1178	1413	1425
女性被害	607	600	580	503	446	412	339	307	348	366
構 成 比	23.9	26.1	26.3	28.1	26.3	27.6	26.0	26.1	24.6	25.7

刑法犯検挙人員の推移は、第27表のとおり513人で、前年に比べ、53人増加した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は21.4%で、前年に比べ0.3ポイント減少した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
女性被疑者	508	462	487	488	458	429	401	384	460	513
構 成 比	22.3	21.4	22.2	22.1	23.6	23.0	21.7	21.4	21.7	21.4
凶 悪 犯	41	37	37	35	45	51	40	46	44	53
女性被疑者	3	6	6	3	3	4	4	-	5	4
構 成 比	7.3	16.2	16.2	8.6	6.7	7.8	10.0	-	11.4	7.5
粗 暴 犯	339	361	366	393	388	357	406	382	547	692
女性被疑者	20	28	24	28	39	39	35	50	84	99
構 成 比	5.9	7.8	6.6	7.1	10.1	10.9	8.6	13.1	15.4	14.3
窃 盗 犯	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143
女性被疑者	425	376	406	375	368	326	306	279	315	336
構 成 比	29.6	28.2	29.8	30.5	33.0	30.8	30.3	29.4	29.0	29.4
知 能 犯	147	157	176	212	164	141	183	203	174	169
女性被疑者	25	28	32	46	33	33	39	38	30	42
構 成 比	17.0	17.8	18.2	21.7	20.1	23.4	21.3	18.7	17.2	24.9
風 俗 犯	54	56	33	149	53	43	39	44	53	97
女性被疑者	4	4	1	14	-	-	-	2	-	1
構 成 比	7.4	7.1	3.0	9.4	-	-	-	4.5	-	1.0
そ の 他	263	214	217	193	173	212	168	171	213	243
女性被疑者	31	20	18	22	15	27	17	15	26	31
構 成 比	11.8	9.3	8.3	11.4	8.7	12.7	10.1	8.8	12.2	12.8

オ 高齢者に係る犯罪

令和6年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は、第28表のとおり1,423件で、前年に比べ35件の増加した。刑法犯全体に占める高齢者被害の割合は13.0%で、前年に比べ、0.9ポイント減少した。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	15,178	14,112	13,346	11,247	10,322	8,560	7,410	7,647	9,955	10,933
高齢被疑者	1,696	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061	849	905	1,388	1,423
構 成 比	11.2	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4	11.5	11.8	13.9	13.0
凶 悪 犯	47	48	46	52	42	44	50	51	55	63
高齢被疑者	7	2	8	8	6	6	1	7	5	5
構 成 比	14.9	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6	2.0	13.7	9.1	7.9
粗 暴 犯	447	492	499	504	474	432	483	453	662	744
高齢被疑者	26	35	35	40	45	46	50	35	75	69
構 成 比	5.8	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6	10.4	7.7	11.3	9.3
窃 盗 犯	11,448	10,445	9,831	8,248	7,545	6,106	5,140	5,447	6,909	7,293
高齢被疑者	1,263	1,140	1,096	831	857	715	517	597	874	861
構 成 比	11.0	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7	10.1	11.0	12.7	11.8
知 能 犯	599	752	699	586	507	421	372	464	797	1,227
高齢被疑者	124	139	105	83	79	82	91	124	231	273
構 成 比	20.7	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5	24.5	26.7	29.0	22.2
風 俗 犯	96	77	64	64	58	64	63	54	119	181
高齢被疑者	-	-	-	2	-	-	-	2	4	3
構 成 比	-	-	-	3.1	-	-	-	3.7	3.4	1.7
そ の 他	2,541	2,298	2,207	1,793	1,696	1,493	1,302	1,178	1,413	1,425
高齢被疑者	276	305	279	230	256	212	190	140	199	212
構 成 比	10.9	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2	14.6	11.9	14.1	14.9

令和6年中における高齢被疑者の検挙人員は、第29表のとおり521人で、全体に占める割合は21.7%で、前年に比べ、2.1ポイント減少した。

第29表 高齢者の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
高齢被疑者	495	486	510	558	457	425	417	410	503	521
構 成 比	21.7	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8	22.6	22.8	23.8	21.7
凶 悪 犯	41	37	37	35	45	51	40	46	44	53
高齢被疑者	3	2	5	4	4	4	3	4	3	5
構 成 比	7.3	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8	7.5	8.7	6.8	9.4
粗 暴 犯	339	361	366	393	388	357	406	382	547	692
高齢被疑者	43	34	44	59	55	43	51	56	84	93
構 成 比	12.7	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0	12.6	14.7	15.4	13.4
窃 盗 犯	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143
高齢被疑者	391	400	415	405	340	332	318	292	355	350
構 成 比	27.3	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4	31.5	30.7	32.7	30.6
知 能 犯	147	157	176	212	164	141	183	203	174	169
高齢被疑者	13	11	17	26	16	13	14	20	14	20
構 成 比	8.8	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2	7.7	9.9	8.0	11.8
風 俗 犯	54	56	33	149	53	43	39	44	53	97
高齢被疑者	4	8	3	31	5	3	6	8	10	9
構 成 比	7.4	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0	15.4	18.2	18.9	9.3
そ の 他	263	214	217	193	173	212	168	171	213	243
高齢被疑者	41	31	26	33	37	30	25	30	37	44
構 成 比	15.6	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2	14.9	17.5	17.4	18.1

2 特別法犯検挙状況

令和6年中における特別法犯の検挙状況は、第30表のとおり、検挙件数は547件、検挙人員は393人で、前年に比べ、検挙件数は18件減少し、検挙人員は45人減少した。

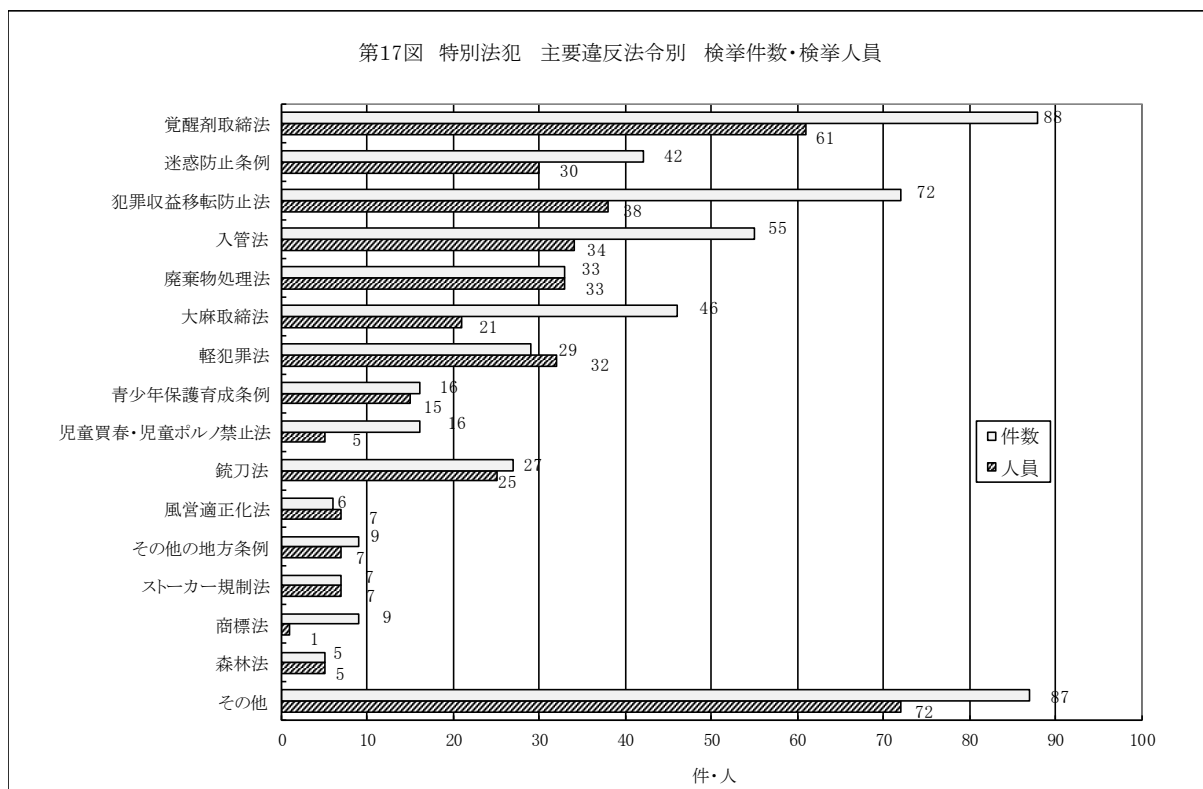
違反法令別に前年と比較すると、犯罪収益移転防止法、不正アクセス禁止法等が増加し、迷惑防止条例、青少年保護育成条例等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
公 職 選 挙 法	2	-	2	1	-	1
入 管 法	55	46	9	34	33	1
軽 犯 罪 法	29	29	±0	32	27	5
迷 惑 防 止 条 例	42	80	-38	30	58	-28
動 物 愛 護 管 理 法	9	4	5	14	5	9
ス ト ー カ ー 規 制 法	7	13	-6	7	8	-1
特殊開錠用具所持禁止法	-	1	-1	-	1	-1
暴 力 団 排 除 条 例	-	1	-1	-	2	-2
モ ー タ ー ボ ー ト 競 走 法	1	-	1	1	-	1
風 営 適 正 化 法	6	17	-11	7	14	-7
児 童 福 祉 法	1	-	1	-	-	±0
二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律	-	1	-1	-	1	-1
二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律	6	2	4	6	2	4
青 少 年 保 護 育 成 条 例	16	28	-12	15	25	-10
児童買春・児童ポルノ禁止法	16	27	-11	5	19	-14
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	72	48	24	38	30	8
銃 刀 法	27	26	1	25	17	8
狩 猟 法	1	5	-4	1	2	-1
火 薬 類 取 締 法	-	1	-1	-	1	-1
麻 薬 等 取 締 法	8	3	5	5	-	5
大 麻 取 締 法	46	39	7	21	29	-8
覚 醒 剤 取 締 法	88	87	1	61	59	2
医 薬 品 医 療 機 器 等 法	1	1	±0	1	-	1

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
毒 劇 物 法	1	1	±0	1	1	±0
麻 薬 等 特 例 法	10	4	6	5	4	1
廃 棄 物 処 理 法	33	44	-11	33	53	-20
狂 犬 病 予 防 法	5	2	3	5	2	3
建 設 資 材 再 資 源 化 法	1	2	-1	1	-	1
食 品 表 示 法	-	1	-1	-	2	-2
不 正 競 争 防 止 法	-	2	-2	-	3	-3
金 融 商 品 取 引 法	-	1	-1	-	1	-1
割 賦 販 売 法	-	1	-1	-	-	±0
特 定 商 取 引 法	2	1	1	3	1	2
森 林 法	5	7	-2	5	7	-2
漁 業 法	3	3	±0	5	6	-1
鉄 道 営 業 法	1	1	±0	1	3	-2
航 空 法	-	1	-1	-	1	-1
船 舶 職 員 法	-	1	-1	-	1	-1
電 波 法	1	1	±0	-	1	-1
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法	20	3	17	5	2	3
地 方 公 務 員 法	1	-	1	4	-	4
行 政 書 士 法	-	1	-1	-	1	-1
民 事 執 行 法	9	6	3	9	6	3
会 社 法	1	-	1	-	-	±0
破 産 法	1	-	1	2	-	2
商 標 法	9	9	±0	1	2	-1
旅 券 法	1	1	±0	-	1	-1
社 会 福 祉 法	1	-	1	2	-	2
四日市市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	3	-	3	3	-	3
四日市市客引き行為等の防止に関する条例	1	1	±0	1	1	±0
三 重 県 漁 業 調 整 規 則	2	3	-1	1	3	-2
三重県動物の愛護及び管理に関する条例	3	9	-6	2	3	-1
総 数	547	565	-18	393	438	-45

違反法令別にみると、第17図のとおりで、検挙件数は覚醒剤取締法、犯罪収益移転防止法、入管法が上位を占めている。



3 少年犯罪の状況

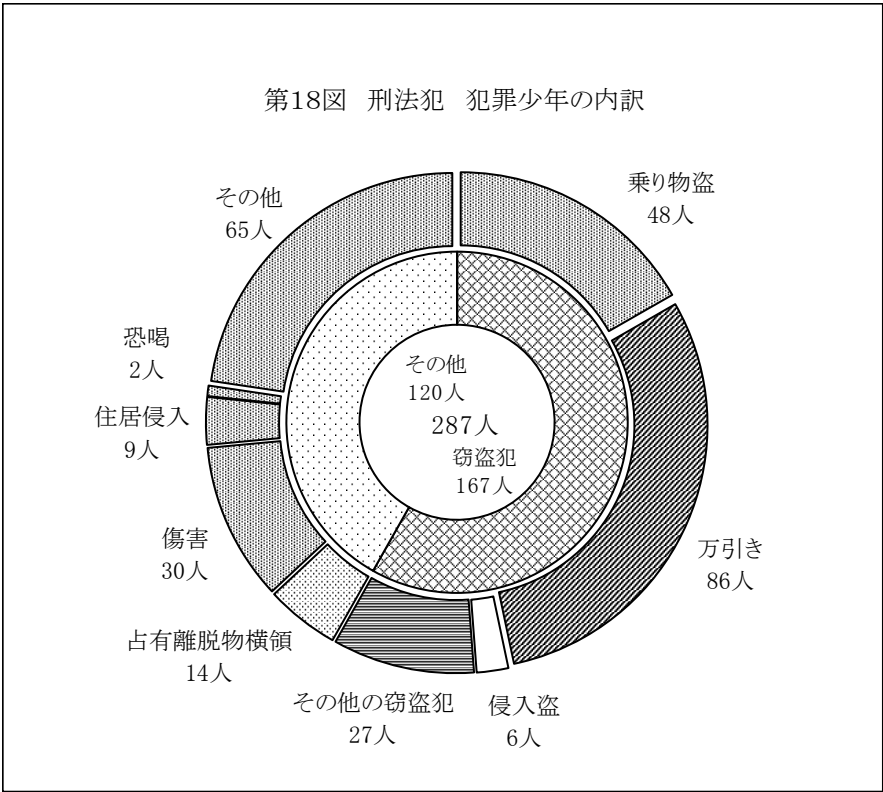
- (1) 令和6年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり287人で、前年に比べ、77人(36.7%)増加した。

罪種別にみると、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯が増加した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和6年		令和5年		増 減	
		構 成 比		構 成 比	人 員	率
総 数	287	100.0	210	100.0	77	36.7
凶 悪 犯	4	1.4	5	2.4	-1	-20
粗 暴 犯	45	15.7	35	16.7	10	28.6
窃 盗 犯	167	58.2	125	59.5	42	33.6
知 能 犯	5	1.7	3	1.4	2	66.7
風 俗 犯	8	2.8	6	2.9	2	33.3
そ の 他	58	20.2	36	17.1	22	61.1

罪名・手口別に見ると、第18図のとおりで、窃盗犯が約6割を占めており、乗り物盗、万引きの占める割合が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第32表のとおりで、平成27年以降、減少傾向であったが、令和5年以降は増加に転じている。

第32表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
うち)少年	388	294	248	240	215	175	172	148	210	287
構 成 比	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9	12.0

- (3) 令和6年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第33表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、名張警察署の18.4%で、大台及び紀宝警察署は少年の検挙がなかった。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	区 分	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397	松 総 数	218	188	191	173	222
うち)少年	175	172	148	210	287	うち)少年	20	5	10	14	32
構 成 比	9.4	9.3	8.2	9.9	12.0	構 成 比	9.2	2.7	5.2	8.1	14.4
桑 総 数	116	153	157	132	174	大 総 数	16	2	15	11	10
うち)少年	9	11	21	11	21	うち)少年	5	-	1	-	-
構 成 比	7.8	7.2	13.4	8.3	12.1	台 構 成 比	31.3	-	6.7	-	-
い 総 数	60	68	58	64	67	伊 総 数	159	209	180	174	205
うち)少年	5	11	2	4	11	うち)少年	9	12	10	16	16
構 成 比	8.3	16.2	3.4	6.3	16.4	勢 構 成 比	5.7	5.7	5.6	9.2	7.8
四 総 数	177	137	118	156	216	鳥 総 数	57	49	83	87	90
うち)少年	9	10	8	10	39	うち)少年	3	2	9	17	16
構 成 比	5.1	7.3	6.8	6.4	18.1	羽 構 成 比	5.3	4.1	10.8	19.5	17.8
北 総 数	197	175	175	285	353	尾 総 数	33	26	37	35	32
うち)少年	21	18	19	39	44	うち)少年	1	-	1	3	1
構 成 比	10.7	10.3	10.9	13.7	12.5	鷺 構 成 比	3.0	-	2.7	8.6	3.1
四 総 数	44	55	44	46	59	熊 総 数	15	24	16	20	30
うち)少年	7	8	7	13	9	うち)少年	1	-	1	-	1
構 成 比	15.9	14.5	15.9	28.3	15.3	野 構 成 比	6.7	-	6.3	-	3.3
西 総 数	67	64	47	47	56	紀 総 数	9	19	14	17	21
亀 うち)少年	7	4	3	2	2	うち)少年	-	-	-	1	-
構 成 比	10.4	6.3	6.4	4.3	3.6	宝 構 成 比	-	-	-	5.9	-
山 総 数	266	273	211	299	296	伊 総 数	61	58	55	66	79
うち)少年	29	55	14	39	30	うち)少年	7	10	4	1	2
構 成 比	10.9	20.1	6.6	13.0	10.1	賀 構 成 比	11.5	17.2	7.3	1.5	2.5
鹿 総 数	164	179	160	286	249	名 総 数	99	64	86	94	98
うち)少年	15	6	18	23	25	うち)少年	14	7	7	5	18
構 成 比	9.1	3.4	11.3	8.0	10.0	張 構 成 比	14.1	10.9	8.1	5.3	18.4
津 総 数	105	103	149	124	139	本 総 数	-	-	-	-	-
うち)少年	13	13	13	12	20	うち)少年	-	-	-	-	-
構 成 比	12.4	12.6	8.7	9.7	14.4	部 構 成 比	-	-	-	-	-

- (4) 触法少年を除く少年犯罪の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第34表のとおり、平成27年は14歳から16歳までの低年齢層が約6割を占めていたが、令和6年は約5割となっている。

第34表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14～19歳)

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総数	397	296	259	245	219	180	178	152	218	293
14歳	59	45	36	33	43	19	21	19	18	33
15歳	84	63	32	52	30	27	25	22	33	48
16歳	106	60	53	59	43	47	40	25	53	67
17歳	68	58	54	34	41	33	46	36	48	69
18歳	51	36	47	38	41	36	21	25	31	41
19歳	29	34	37	29	21	18	25	25	35	35

注: 本表の検挙人員については、犯行時が少年で処理時が20歳以上の場合を含む。

4 暴力団犯罪の状況

- (1) 令和6年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおりであり、刑法犯、特法犯をあわせた総検挙件数は120件、総検挙人員は75人で、前年に比べ、検挙件数は42件減少し、検挙人員は10人減少した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	件数	576	225	673	256	314	280	226	175	162	120
	人員	167	151	140	188	136	119	113	91	85	75
刑 法 犯	件数	476	139	589	190	253	233	175	117	113	71
	人員	107	108	97	149	99	93	75	67	48	50
特 別 法 犯	件数	100	86	84	66	61	47	51	58	49	49
	人員	60	43	43	39	37	26	38	24	37	25

- (2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおり、検挙件数は42件減少し、検挙人員は2人増加した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
総 数	71	113	-42	50	48	2
殺 人	2	-	2	1	-	1
強 盗	-	1	-1	-	3	-3
放 火	1	-	1	1	-	1
不 同 意 性 交 等	1	1	±0	1	-	1
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	5	2	3	6	2	4
傷 害	6	10	-4	7	10	-3
脅 迫	2	-	2	1	-	1
恐 喝	2	2	±0	2	3	-1
窃 盗	26	74	-48	6	12	-6
詐 欺	13	10	3	16	10	6
横 領	-	-	±0	-	-	±0
文 書 偽 造	2	-	2	2	-	2
賭 博	-	-	±0	-	-	±0
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	-	4	-4	-	2	-2
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	-	-	±0	-	-	±0
逮捕監禁	-	1	-1	-	2	-2
信用毀損・ 威力業務妨害	-	-	±0	-	-	±0
器物損壊等	3	2	1	1	1	±0
暴力行為等処罰 ニ関スル法律	-	-	±0	-	-	±0
そ の 他	8	6	2	6	3	3

- (3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおり、検挙件数は増減がなく、検挙人員は12人減少した。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
総 数	49	49	±0	25	37	-12
暴 力 団 排 除 条 例	-	1	-1	-	2	-2
風 営 適 正 化 法	2	3	-1	2	3	-1
青 少 年 保 護 育 成 条 例	-	1	-1	-	1	-1
犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	1	-	1	1	-	1
麻 薬 等 取 締 法	3	-	3	2	-	2
大 麻 取 締 法	6	5	1	-	3	-3
覚 醒 剤 取 締 法	31	34	-3	20	23	-3
麻 薬 等 特 例 法	6	4	2	-	4	-4
廃 棄 物 処 理 法	-	1	-1	-	1	-1

5 来日外国人犯罪の状況

- (1) 令和6年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は、第38表のとおりであり、刑法犯、特別法犯をあわせた総検挙件数は283件、総検挙人員は163人で、前年と比較すると、検挙件数は189件（40.0%）減少し、検挙人員は16人（10.9%）増加した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分		検挙件数				検挙人員			
		令和 6年	令和 5年	増 減		令和 6年	令和 5年	増 減	
				数	率			数	率
総	数	283	472	-189	-40.0	163	147	16	10.9
刑 法 犯	小 計	191	407	-216	-53.1	109	105	4	3.8
	凶 悪 犯	1	2	-1	-50.0	1	3	-2	-66.7
	粗 暴 犯	31	29	2	6.9	36	28	8	28.6
	窃 盗 犯	129	340	-211	-62.1	50	53	-3	-5.7
	知 能 犯	18	8	10	125.0	13	5	8	160.0
	風 俗 犯	-	4	-4	-100.0	1	3	-2	-66.7
	そ の 他	12	24	-12	-50.0	8	13	-5	-38.5
特 別 法 犯	小 計	92	65	27	41.5	54	42	12	28.6
	入 管 法	52	37	15	40.5	32	24	8	33.3
	軽 犯 罪 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	迷 惑 防 止 条 例	-	2	-2	-100.0	-	2	-2	-100.0
	ス ト ー カ ー 規 制 法	-	1	-1	-100.0	-	1	-1	-100.0
	風 営 適 正 化 法	1	2	-1	-50.0	-	1	-1	-100.0
	青 少 年 保 護 育 成 条 例	-	-	-	-	-	-	-	-
	犯 罪 収 益 移 転 防 止 法	6	1	5	500.0	2	-	2	-
	麻 薬 等 取 締 法	1	1	±0	±0.0	-	-	-	-
	大 麻 取 締 法	10	4	6	150.0	2	2	±0	±0.0
	覚 醒 剤 取 締 法	18	6	12	200.0	14	5	9	180.0
	廃 棄 物 処 理 法	1	-	1	-	2	-	2	-
	森 林 法	1	2	-1	-50.0	1	2	-1	-50.0
	商 標 法	-	5	-5	-100.0	-	1	-1	-100.0
	旅 券 法	1	-	1	-	-	-	-	-
	三 重 県 漁 業 調 整 規 則	-	3	-3	-100.0	-	3	-3	-100.0
	四 日 市 市 廃 棄 物 の 減 量 及 び 適 正 処 理 に 関 する 条 例	1	-	1	-	1	-	1	-

- (2) 過去10年間における来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおり、検挙件数、検挙人員ともに増加と減少を繰り返している。

また、令和6年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では5.3%、検挙人員では4.5%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810	3,626
来日外国人	314	114	150	92	146	160	124	73	407	191
構 成 比	6.5	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5	3.6	2.5	10.7	5.3
凶 悪 犯	45	46	49	50	40	47	49	49	43	48
来日外国人	-	3	3	2	3	5	3	1	2	1
構 成 比	-	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6	6.1	2.0	4.7	2.1
粗 暴 犯	347	360	371	396	393	360	404	390	543	661
来日外国人	11	6	11	16	18	15	14	15	29	31
構 成 比	3.2	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2	3.5	3.8	5.3	4.7
窃 盗 犯	3,526	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486	2,259	1,858	2,476	2,128
来日外国人	285	92	59	61	114	111	72	41	340	129
構 成 比	8.1	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5	3.2	2.2	13.7	6.1
知 能 犯	486	551	440	518	432	299	291	320	302	252
来日外国人	8	7	63	1	3	12	11	3	8	18
構 成 比	1.6	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0	3.8	0.9	2.6	7.1
風 俗 犯	79	76	54	52	59	55	54	55	77	145
来日外国人	2	1	2	1	2	3	5	1	4	-
構 成 比	2.5	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5	9.3	1.8	5.2	-
そ の 他	382	369	469	325	296	344	364	281	369	392
来日外国人	8	5	12	11	6	14	19	12	24	12
構 成 比	2.1	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1	5.2	4.3	6.5	3.1

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
総 数	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	2,397
来日外国人	73	51	71	67	68	92	85	59	105	109
構 成 比	3.2	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9	4.6	3.3	5.0	4.5
凶 悪 犯	41	37	37	35	45	51	40	46	44	53
来日外国人	-	3	3	2	2	10	4	1	3	1
構 成 比	-	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6	10.0	2.2	6.8	1.9
粗 暴 犯	339	361	366	393	388	357	406	382	547	692
来日外国人	11	5	12	16	17	16	14	15	28	36
構 成 比	3.2	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5	3.4	3.9	5.1	5.2
窃 盗 犯	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085	1,143
来日外国人	53	36	41	39	43	43	49	32	53	50
構 成 比	3.7	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1	4.9	3.4	4.9	4.4
知 能 犯	147	157	176	212	164	141	183	203	174	169
来日外国人	3	3	4	4	1	10	7	4	5	13
構 成 比	2.0	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1	3.8	2.0	2.9	7.7
風 俗 犯	54	56	33	149	53	43	39	44	53	97
来日外国人	2	1	2	-	2	2	2	1	3	1
構 成 比	3.7	1.8	6.1	-	3.8	4.7	5.1	2.3	5.7	1.0
そ の 他	263	214	217	193	173	212	168	171	213	243
来日外国人	4	3	9	6	3	11	9	6	13	8
構 成 比	1.5	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2	5.4	3.5	6.1	3.3